

# 国際P2M学会誌 P2Mマガジン10号

## 目次

		頁
1. 巻頭言	プログラムマネジメントの時代(久保裕史)	1
2. 特集	「プログラムマネジメントの時代」(編集委員会)	3
3. 特別寄稿	P2Mへの期待	
	・P2Mに期待すること(千葉一裕)	4
	・国際P2M学会への期待(光藤昭男)	5
4. 特集記事	P2M理論の拡充と教育	
	・分断の危機を乗り越えるプログラムマネジメント(山本秀男)	8
	・世界を変えるP2Mへの展開(亀山秀雄)	10
	・プログラムマネジメントにおけるインクルーシブデザインの可能性(佐藤達男)	16
	・教育としてみた国際P2M学会に対する期待(吉川厚)	20
	P2Mのデジタル化	
	・P2Mによるデータドリブン経営実現へのアプローチ(梅田富雄)	24
	・オンラインコミュニケーション時代の企業R&DとP2M(和田義明)	30
	P2Mの社会活動とSDGsへの展開	
	・持続可能な社会とプログラムマネジメント(中村明)	34
	・これからの社会の仕組みとしての「新しい公共のあり方」(沖浦文彦)	41
	・発展途上国に寄与する人材育成とP2Mの創造的統合マネジメントの有効性(神崎博之)	46
	・SDGs/ESG/CSVの展開に向けてP2Mフレームワークの3Sモデルの適用可能性の検討(玉木欽也)	49
	・SDGs時代のP2Mと事業構想(重藤さわ子)	52
	・中央政策と地域行政(地域市民)との懸け橋(谷口邦彦)	55
	・地域をマネジメントするP2M(小山田大和)	61
	・P2Mについて考えること(岡田久典)	66
5. 大会顛末記	第30回国際P2M学会秋季研究発表大会結果報告(岡田久典、永井祐二、中川 唯)	68
6. コラム	不測の事態にプロジェクトに寄り添えるプログラムオフィサーの必要性(亀山秀雄)	73
7. 情報コーナー	AEON TOWAリサーチセンター紹介(中川 唯、山本 百合子、永井 祐二)	74
8. 大会予告	第31回 国際P2M学会 研究発表大会案内(当麻哲哉、白坂成功)	77
9. 国際会議情報	ASCON-IEEChE 2022 KOREA 開催予告	79
9. 編集後記	(亀山秀雄)	80